

# 平成30年度

# 直方市決算要点紹介

平成30年度の市の決算が次の表のとおり議会で認定され、確定しました。  
その内容について、ご紹介いたします。



直方市の  
台所事情を  
チェック  
してみよう

問い合わせ

財政課財政係  
(TEL 25-2231)

**CHECK**  
**1** まずは基本から  
平成30年度も実質収支は黒字となりました

平成30年度は、一般会計(※1)の歳入総額が約260億4千万円、歳出総額が約255億9千万円、収入から支出を差し引いた収支(形式収支)は約4億5千万円の黒字です。これから令和元年度に繰り越して行うことになった事業に要する経費を除いた収支(実質収支)では、約1千5百万円の黒字決算です。単年度で見た場合の収支(実質単年度収支)では、約8百万円の黒字でした。

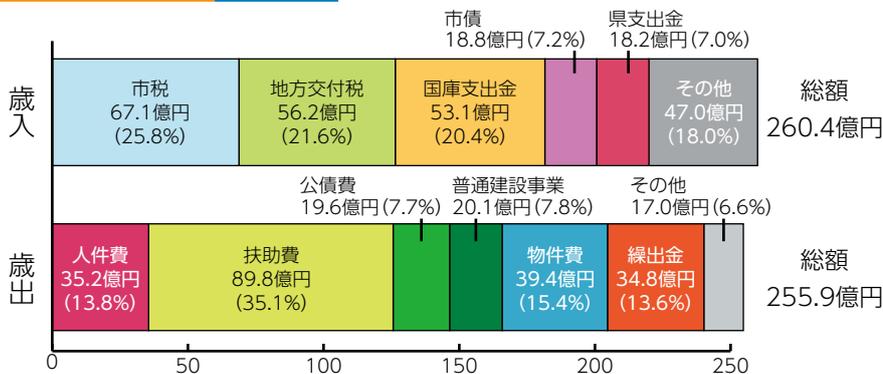
平成30年度は基金の取り崩しによる財源調整を行うことなく決算することができました。平成29年度と比較すると、若干ではありますが収支は改善したと言えます。

歳入の中身を見ると、地方交付税、国庫支出金、市債といった国等に依存するものが約6割を占め、市税等の自主的に確保できる財源の割合は、全体の約4割弱にとどまっています。

これは、直方市の財政運営が依然として、国の地方財政計画等によって大きく左右される状況にあるといえますが、これらの依存財源のうち主なものである地方交付税については年々減少しており、今後同様の傾向が続くものと見込まれます。

歳出では、公債費、繰出金、補助費等が前年度より減少していますが、物件費、災害復旧費、普通建設事

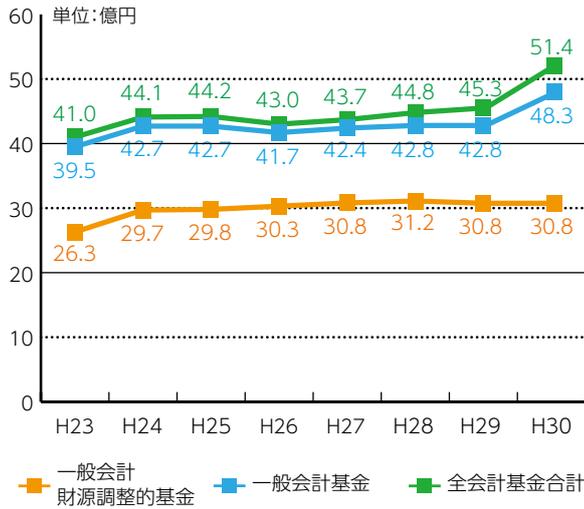
一般会計決算 グラフ①



特別会計 表①

<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民健康保険特別会計 歳入 …… 59億7,575万円 歳出 …… 60億1,143万円</li> <li>●同和地区住宅資金貸付事業特別会計 歳入 …… 1,928万円 歳出 …… 1,851万円</li> <li>●介護保険特別会計(保険事業勘定) 歳入 …… 63億3,345万円 歳出 …… 62億1,312万円</li> <li>●介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 歳入 …… 3,973万円 歳出 …… 3,886万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期高齢者医療特別会計 歳入 …… 9億4,590万円 歳出 …… 9億2,232万円</li> <li>●上頓野産業団地造成事業特別会計 歳入 …… 1,778万円 歳出 …… 1,778万円</li> <li>●公共下水道事業特別会計 歳入 …… 22億2,090万円 歳出 …… 20億4,282万円</li> <li>●農業集落排水事業特別会計 歳入 …… 1億2,194万円 歳出 …… 1億899万円</li> </ul>
--	---

## 基金残高の変化 グラフ②

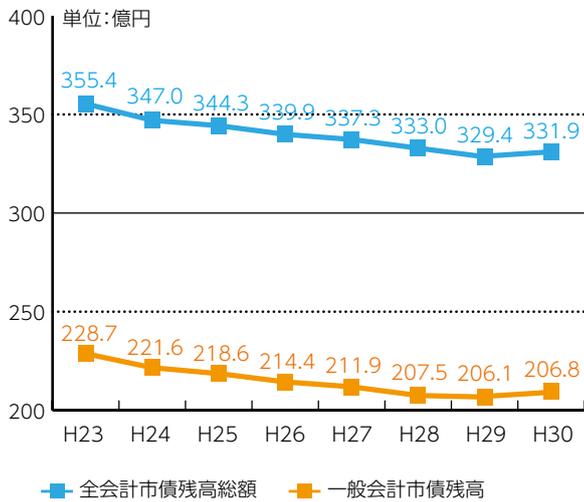


※1 市町村などが通常行っている業務にかかる経費と収入のまゝり。

業費、積立金が増加しています。公債費については減少してはいるものの、現在実施している市営住宅の建て替えや、し尿処理場建設等の大型事業のための借入金償還開始に伴って、今後は増加していくことが見込まれています。

なお、特別会計の決算は表①のようになります。

## 市債残高の変化 グラフ③

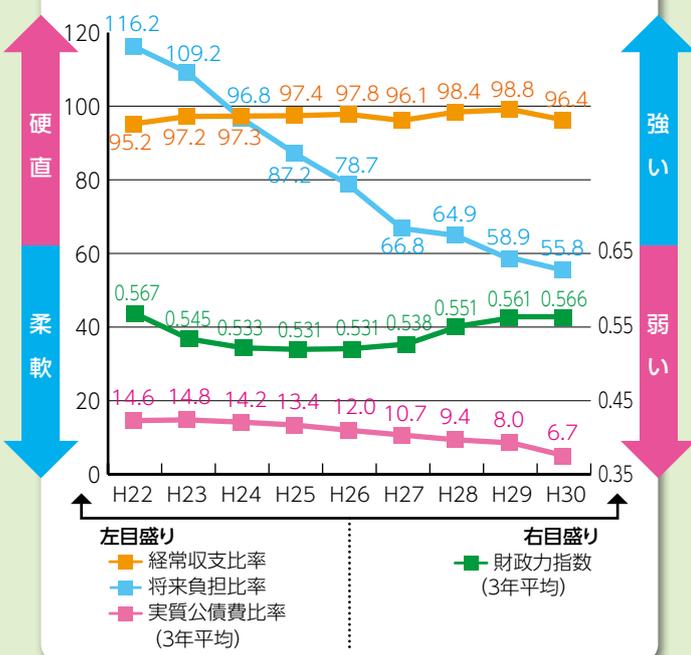


平成30年度末時点での基金(貯金)と市債(借金)の残高の推移は左図グラフ②、グラフ③のようになります。基金残高は約51億4千万円、このうち一般会計分は約48億3千万円、一般会計分の中でも使いみちが特定されていない財源の調整に使える基金は約30億8千万円です。

前年度に比べて、市の基金残高は約6億円増加しました。

**CHECK 2**  
気になる貯金(基金)と借金(市債)の残高は貯金・借金共に増加

## 各種財政指標の推移 グラフ④



次に市の借金である市債残高は、一般会計とその他特別会計も含めた総額で約331億9千万円となり、前年度に比べて約2億6千万円増となっています。

市債残高の内訳は、一般会計で約206億円8千万円(前年度より約7千万円の増)で、特別会計では、公共下水道事業で約117億2千万円(前年度より約2億5千万円の増)、農業集落排水事業特別会計で約6億1千万円(前年度より約4千万円の減)、上頓野産業団地造成事業で約1億8千万円(前年度より約

2千万円の減)となり、この3事業が特別会計分のほとんどを占めています。

